

臨床研究倫理審査委員会（治験） 議事要旨

開催日時	令和2年6月24日（水）18:52～19:48
開催場所	茨城県立中央病院 研修棟 A
出席委員名	小島寛、清嶋護之、鈴木保之、小林弘明、武安法之、狩野俊幸、三橋彰一、荒木眞裕、菅谷明德、増田淳之、松村哲也、鈴木美加、野上達也、秋山順子、多川英久雄、村上りつ子
課題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>新規試験（治験国内管理人）IQVIA サービスーズ ジャパン株式会社の依頼による</p> <p>議題① 潰瘍性大腸炎患者を対象とした etrasimod の第3相無作為化、二重盲検試験 治験の実施の適否について審議した。</p> <p>審議結果： 保留</p> <p>継続試験 MSD 株式会社の依頼による</p> <p>議題② 「進行性又は転移性食道癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」 院内で発生した重篤な有害事象および国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題③ MSD 株式会社の依頼による 「胃腺癌及び食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」 院内で発生した重篤な有害事象および国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題④ MSD 株式会社の依頼による 「MK-3475 第Ⅱ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p>

議題⑤	MSD 株式会社の依頼による 「胃癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。
審議結果：	承認
議題⑥	MSD 株式会社の依頼による 「胃癌（HER2 陰性）を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。 さらに治験に関する変更について報告した。
審議結果：	承認
議題⑦	ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による 「未治療の多発性骨髄腫患者を対象とした BMS-901608 の国内第 2 相臨床試験」 海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：	承認
議題⑧	中外製薬株式会社の依頼による 「非小細胞肺癌患者を対象とした MPDL3280A の第Ⅲ相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：	承認
議題⑨	EAファーマ株式会社の依頼による 「AJM300 の活動期潰瘍性大腸炎患者を対象とした第Ⅲ相臨床試験（2）」 治験継続の適否について審議した。
審議結果：	承認

議題⑩	日本イーライリリー株式会社の依頼による 「クローン病患者を対象とした LY3074828 の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果：	承認
議題⑪	フェリング・ファーマ株式会社の依頼による 「A Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subject Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects 軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者に FE 999315 を 8 週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験」 治験に関する変更について審議した。
審議結果：	承認